

第4回通常総会を開催

プラトン四日市で



木村会長



総会会場



来賓のみなさん



講師の寺岡賢氏

当協会の第4回通常総会が、平成27年5月29日（金）13時30分からプラトンホテル四日市で会員等約110名が参加して開催されました。

木村会長は「廃棄物処理法改正後の災害廃棄物処理の重要性、適正処理の推進と法令遵守の徹底を」と挨拶し、来賓の三重県環境生活部廃棄物対策局次長の湯浅氏からは「策定した災害廃棄物処理計画と優良事業者制度の活用」への期待等のご祝辞を頂きました。

第1号議案26年度事業報告から第4号議案まで全て賛成多数で可決されました。その後、協会発展に尽力された方々の表彰式が行われました。役員改選に伴い、別室で臨時理事会が開かれた結果、三役の留任が報告されました。そして、賛助会員によるプレゼンテーションが行われ、公益財団法人修養団の寺岡賢氏より「美しい心、日本の心」と題して日本の神話や日本人の精神について1時間30分講演いただきました。総会の無事終了を祝して、17時過ぎからご来賓の方々等を交え約80名が参加し、なごやかに懇談会が開かれました。

平成27年度協会表彰の受賞者



{特別功労者表彰}

光友 勝美（株式会社吉野興産）
生川 好彦（エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社）

{功労者表彰}

堀田 誠（堀田建設株式会社）
伊藤 明弘（株式会社山明）
堀田 哲久（三岐通運株式会社）

{優良事業所表彰}

美和ロック株式会社玉城工場
新日本技研株式会社
有限会社鈴清社
社会福祉法人伊勢亀鈴会きれいサポートステーション

{優良従事者表彰}

西 洋一（株式会社エコ・プランニング）
八鳥 昇（塩浜運送株式会社）
平井 俊文（三重中央開発株式会社）
内田 俊彦（株式会社後出建材土木）
木船 昭彦（株式会社サニックス鈴鹿工場）
小倉 正文（有限会社繁栄商事）
佐々木 透（エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社）
村上知香子（株式会社ウエスギ）
戸谷 友治（株式会社ケー・イー・シー）

{環境美化活動推進事業所表彰}

株式会社益生小型運送 株式会社エコ・プランニング
近畿環境サービス株式会社 三重中央開発株式会社
株式会社中村組

平成26年度事業報告

- ①第3回通常総会を開催、理事会を4回開催
- ②初任者研修会、実務者研修会、廃棄物処理法説明会、電子マニフェストパソコン操作研修等を開催
- ③災害情報伝達訓練を1月実施、環境省と三重県の災害廃棄物対策会議に参加
- ④中部4県不法処理防止連絡会議を開催、環境美化活動を実施
- ⑤ホームページ、会報誌により法関係、各種研修会等情報発信
- ⑥県外研修・意見交換会、安全衛生研修、産廃処理業者の視察研修会等を開催
- ⑦県政への要望活動、法の運用等相談、処分先紹介を実施
- ⑧Mieこどもエコフェア、みえ環境フェア、リーディング産業展に参加
- ⑨紙マニフェストの販売、許可講習会への協力等
- ⑩全産連法制度委員会委員として3回出席

平成26年度決算報告

経常収益の部	44,980,625円
（会費）	29,860,000円
事業収入	15,120,625円
経常費用の部	45,104,231円
（実施会計）	8,569,813円、
その他会計等	36,534,418円
正味財産期末残高	25,975,468円

協会理事の交代



入江氏 新任理事 小川氏

第4回通常総会で当協会理事2名の交代が承認されました。

◆平成27年5月29日付け退任 光友勝美氏
10年間協会の発展に、とりわけ県外研修等福利厚生委員会事業の推進に尽力されました。

◆平成27年5月29日付け退任 生川好彦氏
10年間協会の発展に、とりわけ不法処理防止等適正処理委員会事業の推進に尽力されました。

新たに、紀州地域から入江司氏と女性理事として小川喜美子氏が就任しました。



生川氏 理事退任 光友氏

平成27・28年度各委員会・部会・専門部会名簿

委員会	委員長・部会長		副委員長・副部会長		平成27年度 委員会・部会の主な事業計画
	氏名	事業所名	氏名	事業所名	
総務委員会	木村 誠男	(株)コスモ	山本 正人	(有)山本測量設計事務所	・県政懇談会・行政懇談会の実施 ・新規会員加入促進、青年部との連携
適正処理委員会	光友 裕昭	(株)吉野興産	小川喜美子	塩浜運送(株)	・産廃初任者研修会、実務者研修会等の実施 ・不法処理防止対策、電子マニフェスト操作研修
広報調査委員会	堀川 勉良	井村屋(株)	菊田 喜之	キクタ総業(株)	・協会会報誌「しろちどり」の発行 ・協会ホームページのリニューアル
福利厚生委員会	中村 雪夫	(有)クリーンテック名張	宮崎 貞勝	太陽化学(株)	・県外視察研修・意見交換会等の実施 9月10日 ・安全衛生研修会、ゴルフ大会の実施
排出事業者部会	森田 亮一	住友電装(株)	村山 真治	(株)ADEKA 三重工場	・排出企業対象マネジメント研修会に参加 ・環境対策事例発表会の開催
災害廃棄物処理専門部会	出馬 泰道	(有)出馬重機	金森 伸夫	名星ディストラクト(株)	・応援協定に基づく情報伝達訓練の実施 ・災害廃棄物処理応援協力会員の加入促進
優良産廃処理業者推進専門部会	小林 健次	東海総合産業(株)	伊藤 靖則	(株)イトジュ	・優良認定制度の改善への要望活動 ・優良業者への登録推進及び更新支援
医療廃棄物専門部会	入江 司	(有)尾鷲環境開発	石山 和城	三重中央開発(株)	・鳥インフルエンザ対策講演会への参加 ・感染性廃棄物の処理体制の整備

合同会議の開催



平成27年7月29日（水）に合同会議を開催し、会長から「来年開催の伊勢志摩サミット控え、廃棄物の不法投棄がないようパトロール等を実施する。協会員目標の400社を超えたが、協会活動を充実させ、さらに会員を増やしたい」と開会の挨拶がありました。

三重県の災害廃棄物処理計画と当協会専務理事の廃棄物処理法改正案についての講演会終了後、会長から各委員会・部会の委員長・部会長・副委員長・副部会長へ辞令等を交付しました。その後、各委員会・部会ごとに小会議室に分かれて委員長・部会長から委員・部会員に委嘱状を交付、今年度の事業計画等を話し合い、再び合同会議でそれぞれの事業計画を各委員長から発表しました。

県災害廃棄物処理計画の講演会



合同会議に先立ち、県廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課リサイクル推進班長 藤田修造氏から、県災害廃棄物処理計画の趣旨と災害応援協定への協力についてご挨拶いただきました。そして「三重県災害廃棄物処理計画について」と題して県廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課リサイクル推進班主幹 春日井忍氏からご講演をいただきました。

主な内容は①過去の南海トラフ地震級の大地震が発生した場合の災害廃棄物の発生量推計は三重県の一般廃棄物の総排出量の29年分相当であること。②処理方針では、地方自治法に基づき市町が県に処理を委託できる。（特別対策）③処理期間は災害発生から3年以内の完了を目指している。④民間施設での処理は、産業廃棄物協会等と調整を行い各市町の処理量を割り当てる。

また、当協会に災害応援協定会員への登録について依頼がありました。

質疑応答 Q他県協会では、県以外に市町とも協定締結の動きがあるが、三重県ではどうか？
A三重県は協会、全市町それぞれと災害応援協定を締結しているので、災害時にはその中で対応したいと考えている。